

デイサービスおおいどより

平成28年4月
第3号

♪ 音楽ケアプログラムに取り組んでいます ♪

音楽ケアプログラムは、音楽を聴く、楽器を奏でる、音に合わせて体を動かす、歌うなど、音楽を通じて脳を活性化させる、脳と体のリハビリテーションです。

デイサービスセンターおおいどでは、音楽療法士の講習を受けたスタッフによる音楽ケアプログラムを行っています。



4月21日のプログラム
花は咲く体操
テネシーワルツ
あんたがたどこさ
あとだしじゃんけん
鉄道唱歌体操
港の見える丘
南国土佐を後にして
青い山脈
東京のバスガール
クーリングダウン



4月といったら「桜」です。手作りで桜の鳴子を製作しました。振ると軽快な音が鳴り、とても、盛り上がりました♪



連載第2回！認知症のシノブさんと、シノブさんを介護するお嫁さんのトモ子さんの日常の一コマに、作業療法士の正子さんが解説します。今回、トモ子さんは、シノブさんがウソを言っているように感じています。そのためどのようにシノブさんにかかる言葉が見つかりません。さて、正子さんの解説は・・・？

登場人物・・・



ポイント

認知症の主な症状は、覚える事や、思い出す事がとても難しくなる「記憶障害」です。



うそを言うのはわけがある？！



記憶障害によって体験したことをすぐ忘れてしまうと、一つ一つの出来事が、連続性のあるものだと感じにくくなってしまいます。

シノブさんは、お客さんとお話している間に、お鍋に火をかけたことが、すっかり記憶から消えてしまいました。そのため、知らないうちに鍋がこげているのだから、誰かが鍋を焦がしたに違いない！と考えがまとまったのでしょう。

うそを言っているのではなく、欠落した記憶を補うための「とりつくりの反応」が見られているのです。

ヒント

おおらかに
なごやかに



認知症の初期には、もの忘れのあることについて本人も自覚していることが多いといわれています。記憶の欠落に混乱したり、不安な気持ちになったりして、生活することが大変になっていきます。

このような時に失敗を指摘すると、かえって不安をあおり、強いストレスになってしまいます。コンロを替えるなどの失敗しにくい工夫や、失敗にならない様にさりげなくサポートするなど、ご本人にとってストレスなく生活してもらう援助が有効です。ご本人だけでなく、介護する人にとってもストレスは大敵です。介護保険など各種サービスも有効に活用しましょう。

※写真の掲載にあたっては、ご本人様もしくはご家族様より事前に了承を得ております。
※マンガの登場人物はすべてフィクションですが、デイサービスセンターおおいどには、認知症の専門職員が在籍しています。いつでも、お気軽にご相談ください。

発行:デイサービスセンターおおいど(認知症対応型)
〒372-0021群馬県伊勢崎市上諏訪町1766-8
TEL 0270-40-6777 FAX 0270-40-6778
介護保険指定番号 1090400225号

